



- アメリカの臨界前核実験に抗議
- アメリカ国連大使 長崎初訪問
- 被爆79年 平和関連行事紹介
- 青少年ピースボランティア活動
- 原爆死没者名簿200冊 風通し
- 日本語弁論大会 出場者募集
- 語り継ぐ被爆体験 交流会
- TOPICS!(追悼平和祈念館 野瀬新館長就任ほか)
- 長崎ピース・プレナー・フォーラム
- 式典の被爆者代表に三瀬清一郎さん
- 平和案内人第8期生 活動スタート
- 令和5年度 平和推進協会事業報告
- 国際交流の集い 英語で被爆体験
- 被爆証言「8月9日の記憶」上映会
- 被爆者健康講話
- 会員の広場



協会webサイト



初めてユニフォームに袖とおした平和案内人8期生(詳細は3ページ)

臨界前核実験に抗議

令和6年5月14日にアメリカが臨界前核実験を行ったことを受けて、長崎平和推進協会では調漸理事長名で、ジョー・バイデン大統領とラーム・エマニュエル駐日大使に抗議文を送りました。アメリカの臨界前核実験は令和3年9月以来です。

バイデン大統領は就任直後の令和3年2月に、ロシアとの間で「新戦略兵器削減条約」(新START)を5年間延長するなど核軍縮に前向きな姿勢をみせた一方で、臨界前核実験は継続しておりバイデン政権になってこれで3回目です。

抗議文では、バイデン大統領に「被爆地・長崎を訪問し、核兵器が人類に何をもたらしたのかを知り、被爆地の切なる思いを受け止めるよう」求めるとともに、「核兵器のない世界の実現のためにリーダーシップを発揮させることを強く求めます」と訴えています。



ピース・プレナー・フォーラム 長崎で初めての開催

若者による国際会議「ワン・ヤング・ワールド」の平和をテーマにした分科会「ピース・プレナー・フォーラム」が5月10〜13日、初めて長崎市で開催されました。世界20か国から約150人の若者が参加、講演やワークショップを通して「平和な社会の実現に向けて今何が必要なのか」議論を深めました。

初日は国連で軍縮担当上級代表も務める中満泉事務次長が登壇し、「将来の平和のためイノベーションを駆使して、勇気と情熱を持って声を上げてほしい。あなたたちならできると確信している」と若者に訴えました。



アメリカ国連大使 長崎を初訪問

アメリカのリンダ・トーマスグリーンフィールド国連大使が4月19日、長崎市の平和公園や原爆資料館などを訪れました。国連大使はバイデン政権にとって閣僚級のポストで、アメリカ政府の閣僚が長崎市を単独訪問するのは今回が初めてです。

大使は平和公園で献花したあと原爆資料館を訪問、平和活動に取り組む大学生らと意見交換しました。資料館を視察した大使は「この街には癒えることのない傷跡がある。長崎を核兵器の恐ろしさを体験した最後の場所しなければならぬ」と語りました。



被爆79年 平和関連行事のご案内

被爆79年 ナガサキ原爆写真展

期間 7月22日(月)~8月2日(金)
時間 8:30~18:30
(初日は午後のみ、最終日は午前中のみ)
場所 追悼平和祈念館地下2階
交流ラウンジ
☎ 平和推進協会 095-844-9922

第39回 長崎平和音楽祭

日時 8月3日(土) 14:00~16:00
場所 原爆資料館ホール
料金 一般1,000円、中学生500円
小学生以下無料
☎ 平和音楽祭事務局 095-823-9373

原爆資料館・追悼平和祈念館 開館延長

期間 8月7日(水)~9日(金)
時間 8:30~20:00

平和案内人による資料館・祈念館ガイド(時間延長)

期間 8月7日(水)~9日(金)
時間 9:00~20:00
受付 原爆資料館 正面入り口
☎ 平和推進協会 095-844-9922

永遠の会による特別常駐朗読

期間 8月8日(木)~9日(金)
時間 9:00~18:00
場所 追悼平和祈念館地下2階 追悼空間
☎ 追悼平和祈念館 095-814-0055

「ナガサキの郵便配達」

朗読と音楽で紡ぐ平和への想い

日時 8月24日(土) 13:30~15:00
場所 原爆資料館ホール
☎ 平和推進協会 095-844-9922

平和の灯(ともしび)

日時 9月28日(土)17:45~19:00 **場所** 爆心地公園
☎ 平和の灯実行委員会 095-844-3913

平和案内人 第8期生 活動スタート!

5月から平和案内人「第8期生」36人が活動を開始しました。8期生は昨年11月より始まった育成講座(全15回)を3月で修了。約1か月の自主研修を経て4月29日のオリエンテーションを迎えました。ガイド時の活動の流れ、原爆資料館・追悼平和祈念館の避難経路などを確認した後、それぞれ「ユニフォーム」と「平和案内人証」を受け取りました。

5月1日から第1~7期生の先輩案内人とともに常駐ガイドとしての活動が始まり、まずは来館者への声かけ、館内の案内に取り組んでいます。8期生からは「来館者に声をかけるのが難しい」、「先輩がスムーズに声をかけていてすごいと思った」などの声も聞かれました。

6月からは県内の小中学校でも平和学習が盛んとなり、碑めぐりなどのガイド依頼も増加しています。8期生も加わり平和案内人の活動はますます活発となっています。(表紙の写真・長崎新聞社提供)

被爆者代表に選出 継承部会の三瀬清一郎さん

8月9日の平和祈念式典で「平和への誓い」を読み上げる被爆者代表に、当協会の継承部会員として証言活動を行っている三瀬清一郎さんが選ばれました。

10歳の時、爆心地から約3.6キロの自宅で被爆した三瀬さん。爆心直下にいた2~12歳のいとこ5人を含む親族7人が原爆の犠牲になりました。2014年から継承部会に所属し修学旅行生らに被爆体験を語っていて、去年の講話回数は78回に上っています。

三瀬さんは「ウクライナ・バレスチナと世界は揺れ動いている。戦争で犠牲になるのは市民であり、子供たち。いかに平和がありがたいか、いかに人間の命が尊いかを訴えたい」と意気込みを語りました。



令和5年度 長崎平和推進協会 事業報告

I 平和推進事業 65,114,392円 (①+②+③+④+⑤+⑥)

① 広報事業費 1,384,924円

「会報へいわ」や「平和のあゆみ」等の発行、LINEなどSNSでの情報発信

② 啓発事業費 3,227,375円

被爆体験講話者派遣 原爆被災写真パネル・DVD貸出

被爆者証言ビデオの作成 平和に関する講演会等の実施

国連軍縮週間行事「市民のつどい」

③ 継承事業費 10,369,989円 (長崎市からの受託事業)

県外原爆・平和展 青少年ピースフォーラム

青少年ピースボランティア育成 平和学習発表会及び教材等配布

語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)推進

④ 調査研究費 316,720円

⑤ 育成事業費 6,585,063円

部会活動 平和意識の啓発・高揚を図るため、会員で組織する4部会が自主的な活動に取り組んだ

①継承部会：31人 ②国際交流部会：20人

③写真資料調査部会：8人 ④音楽部会：16人

平和案内人育成・派遣 ボランティアガイド「平和案内人」を育成し活動を支援した

国際青年平和交流事業 長崎の高校生・大学生が提案した平和に関する企画を、企画者自身で実施した

平和事業支援・秋月グラント 協会の活動趣旨と合致する事業等に対し、共催・後援や助成を行った

⑥ その他費用 43,230,321円 人件費、事務費など



II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 286,040,292円

国(厚生労働省)から「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の管理・事業運営を受託し、原爆死没者の追悼と平和祈念に関する様々な事業を実施した。

実施した事業

原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開・名簿保管、被爆体験記等の収集・整理・公開、開館20周年記念講演会・企画展の開催、執筆補助・証言ビデオ等の制作、海外原爆展・国際平和映画祭等の開催、被爆体験記の朗読、家族・交流証言者等の派遣、若者による平和ネットワーク構築プログラム開催、「被爆の実相の伝承」オンライン化・デジタル化事業など



III 収益事業 11,785,911円

自主財源を確保するため、原爆に関する書籍やオリジナルグッズを販売した。令和5年度は、前年度に発売した「Peace なねこ」シリーズが好評なことから新たに白と黒の「缶バッジ」を加えた。



IV 法人会計 4,465,713円

社会保険労務士、税理士等から助言を受け、法人を的確に運営した。理事会・評議員会を開催した。

広く市民に世界恒久平和への諸問題について 認識を深めてもらうため講演会等を開催

「ナガサキの郵便配達」 朗読と音楽で紡ぐ 平和への想い

開催日:8月26日
会 場:原爆資料館
ホール



森田孝子書道展 「平和への願いを 書に託して」

開催日:11月3日~7日
会 場:追悼平和祈念館
交流ラウンジ



ラウンジコンサート2023 「Music Garden Pray & Play」

開催日:9月30日、10月
21日、11月18日
会 場:追悼平和祈念館
交流ラウンジ



ICAN事務局長 メリッサ・パーク氏 講演会

開催日:1月21日
会 場:原爆資料館
ホール



県外原爆・平和展 (長崎市からの受託事業)

戦争や被爆の実相をより多くの方々に伝えるため、長崎県外の自治体等と共催で「原爆・平和展」を開催しています。被災資料や写真の展示だけでなく、継承部会員や写真資料調査部会員を現地に派遣し、被爆地の生の声を伝えています。令和5年度は京都府福知山市・東京都千代田区・埼玉県三郷市で開催(来場者5,508人)、今年度は千葉県浦安市、福岡県北九州市・久山町の3自治体で開催予定です。



国連軍縮週間行事 市民のつどい

国連軍縮週間(10月24日~30日)にあわせ、10月28日に「市民のつどい」を開催。コロナ禍の影響で中止していた戦時食コーナーを復活し「野草の天ぷら」「すいとん」など紹介、原爆写真展示、折り鶴作り等のイベントも行いました。被爆3世である上奥まいこさんのコンサート、かわち家「チンドン平和紙芝居」を上演し、多くの人に平和について考えてもらう1日となりました。



令和6年度 長崎平和推進協会 理事会・評議員会

5月28日に通常理事会、6月18日に定時評議員会を開催しました。今回も追悼平和祈念館交流ラウンジでの対面参加に加え、オンラインも併用しての実施となりました。

通常理事会では令和5年度の事業報告及び決算の決議が行われた他、理事長・副理事長の職務の執行状況について報告しました。

定時評議員会では令和5年度の事業報告が行われ、決算が承認されました。

新たに選任された理事・監事・評議員のご紹介 (敬称略・令和6年5月現在)

【理事】佐藤峻 【監事】相沢有毅

【評議員】阿波村功一、五十嵐大輔、久間哲彦、白石邦俊、野崎健太、真島和博

原爆死没者名簿の風通し



5月17日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、原爆死没者名簿200冊（広島被爆者1冊、身元不明の死没者を悼む白紙1冊含む）の風通しが行われました。今年も晴天の下、大型窓を開放し、梅雨入り前のこの時期に実施しました。白い手袋をした長崎市職員が11時2分に黙とうをささげた後、すべての名簿に対し、汚れや破損がないかなど確認しながら1枚ずつ丁寧にめぐり、外気に当てて湿気を取り除きました。

一方、昨年8月からこの1年間に亡くなった被爆者については、6月からお名前の筆耕が進んでおり、新たな名簿が8月9日の平和祈念式典で奉安されます。

青少年ピースボランティア活動報告



5月18日・25日に青少年ピースボランティアの学習会を実施し、長崎原爆についての基礎学習を行いました。

18日には山川剛さん（被爆当時8歳）の被爆体験講話を聴講し、戦時中の教育や被爆時の惨状などについて当事者の声を直接聞くほか、10代・20代への力強いメッセージもいただきました。また、久しぶりに原爆資料館を見学した参加者も多く、平和案内人の解説を熱心に聞いていました。25日のフィールドワークでは、自分たちもガイドする側になることを意識して学ぶ姿が見られました。

ピースボランティアはこれから、全国から約400人の青少年が集う「青少年ピースフォーラム」の準備を進めます。

「8月9日の記憶」上映会



6月8日、原爆資料館ホールにて「被爆場所等で語る被爆証言映像 8月9日の記憶」の上映会を開催しました。令和5年度に撮影した森田宏さん、三瀬清一朗さん、市丸彪さん、小峰秀孝さんの被爆体験映像を、約80人の来場者を前に初めて披露しました。当日は森田さん・三瀬さんにお越しいただき、上映後に挨拶していただきました。お2人とも89歳ながら気持ちはとても熱く、この体験を若い世代に伝えなければと強く訴えられています。被爆証言映像は令和2年度から制作をはじめ、今回で16人分の映像がそろいました。下記QRコードからご覧いただけます。



国際交流のつどい開催



4月13日に追悼平和祈念館研究室において、「国際交流のつどい」を開催しました。

三瀬清一朗さんに英語で被爆体験をお話しいただき、白石克文国際交流部会長が日本語へ通訳しました。

三瀬さんは、当時伊良木国民学校の5年生で、爆心地から3.6kmで被爆。家族8人は無事でしたが、道ばたには黒く焼け焦げた死体が転がっていました。救護の甲斐なく亡くなった方が運動場で茶毘に付される光景や匂いは今も忘れられないとのことでした。現在も戦争が続く、「核の脅威」が高まるなか、今こそ核兵器のない世界を目指して声高らかに叫ぶことの大切さを訴えられ、「平和は人類みなが共有する世界の遺産である」ということばで、締めくくられました。

外国人による日本語弁論大会 出場者募集

長崎県在住外国人の日本語学習の成果発表の場、学習意欲の醸成の場として、また、日本人と外国人の相互理解を深めることを目的に開催しています。

スピーチテーマは、「外国人から見た日本・平和・国際交流」です。長崎で暮らす外国人の皆さん、日本語であなたの思いを伝えてみませんか。

日時 10月19日(土) 13:30~16:00

場所 追悼平和祈念館 交流ラウンジ

対象 長崎に住む外国人(応募資格あり)

締切 8月26日(月)



〈詳しくはコチラ〉



●詳細は、QRコードからご確認いただけます。

第2回被爆者健康講話

「被ばく医療協力事業」の一環として、長崎大学原爆後障害医療研究所の協力のもと「被爆者健康講話」を開催しております。

今年度は全10回の講話を予定しており、7月の第2回講話の内容は以下のとおりです。

日時 7月18日(木) 14:00~15:00

場所 追悼平和祈念館地下2階 交流ラウンジ

テーマ 「認知機能をケアしよう!心と脳の健康について」

講師 長崎大学原爆後障害医療研究所

柏崎 佑哉 助教

入場無料・事前予約不要

- 被爆者の方以外でも参加できます
- 「ながさき県民大学連携講座」となっています



語り継ぐ被爆体験 交流会

被爆者の高齢化が進み、直接語れる時間も残り少なくなっています。被爆者の体験を受け継ぎ、次世代に語り伝える「語り継ぐ被爆体験推進事業」では、被爆体験を託したい方と受け継ぎたい方との出会いの場として「交流会」を開催します。

日時 ①9月21日(土) 14:00~16:30

②9月22日(日) 14:00~16:30

場所 原爆資料館 平和学習室

応募方法 申込書をメールまたはFAXでお送りください

募集締切 8月30日(金)

- 詳細は協会ウェブサイトをご覧ください



No. 29

お便りを お寄せください!

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内でお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。



長崎原爆資料館 館長 井上琢治

この状況を乗り越えるためには、市民社会が連帯して声を上げ続けることが大事であり、その観点から、平和推進協会の役割は今後ますます重要になってきます。長崎市も協会との連携をさらに深め、官民一体となって、核兵器のない世界の実現に力を尽くしてまいりますので、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

Peace Wing Nagasaki 会員の広場

「館長就任から一年」
原爆資料館の館長に就任してから一年余りが経ちました。この間、資料館を訪れる国内外の要人の方々に、「長崎を最後の被爆地に」という被爆者をはじめ被爆地長崎の強い決意を共有していただくよう訴えてまいりました。

しかし、現下の国際情勢は、市民が犠牲となる深刻な人道危機が長期化するとともに、核兵器使用のリスクが一段と高まっています。



TOPICS! へいわトピックス

平和学習ノートを作成しました

ハク(浦上地区の地域ネコ)とハム(ハムスター)と一緒に、クイズに挑戦しながら、祈念館について学ぶことができる内容となっています。

また、平和学習ノートに併せて設置を開始したハク・ハムのスタンプは、その可愛さに、多くの来館者の方から好評をいただいております。

どちらも総合案内前にございます。ご来館の際はぜひ、手に取ってみてください。



野瀬新館長あいさつ

このたび、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の館長に就任しました野瀬弘志です。

祈念館は、原子爆弾による多くの死没者の犠牲を銘記し、恒久の平和を祈念するための施設として設置されています。

館内の追悼空間では、市の内外から来館した児童・生徒による平和集会在、毎日のように行われています。原爆死没者への追悼と平和の祈念を真摯に行っている子どもたちに接していると、祈念館の役割の大切さに身が引き締まる思いです。

祈念館が「原爆の惨劇を世界にふたたび繰り返してはならない」という被爆者のみなさんの心からの願いを伝えられる場であるよう、職員とともに努力してまいります。



「長崎を最後の被爆地に」電照看板を設置

来年の被爆80年に向けて、被爆地・長崎からのメッセージを広く知ってもらうため、原爆死没者名簿の筆耕を長年行っている森田孝子氏揮毫による「長崎を最後の被爆地に」の電照看板を「原爆資料館電停」に新たに設置しました。電停を利用する方々が平和について考えるきっかけになればと願っています。



平和推進協会の会員になりませんか？

協会では「被爆体験講話」や「平和案内人の育成・派遣」など平和活動を支えていただく会員を募集しています。核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次世代に伝え、核兵器の廃絶を目指して一緒に平和の輪を広げませんか？



【年会費】

- 維持会員(個人) 3千円以上
- 賛助会員(団体・個人) 1口1万円
- 学生会員 無料

問い合わせ: 平和推進協会事務局
TEL 095(844)9922



世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	中国	フランス	英国	パキスタン	インド	イスラエル	北朝鮮	合計
2024年6月1日	5,580	5,044	500	290	225	170	170	90	50	12,120

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 提供 <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

寄附者紹介

ありがとうございます

- ◎内野 雄太 (敬称略) 三百万円
 - ◎故・生野 實 三万円
 - ◎益子 英子 二万円
 - ◎匿名(2件) 一万二千元
- 皆様から寄せられた香典返しや退職祝いなどの寄附は、平和推進事業の貴重な財源として、活用させていただきます。

会員数報告

- ◎維持会員 1,057名
 - ◎賛助会員 174名
 - ◎学生会員 64名
- 令和6年5月31日現在

賛助会員(団体・法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。

ご支援ご協力誠にありがとうございます。会員拡大にもご協力を願っています。

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。

今年度まだ会費を納めていただけていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により納入くださいますようお願いいたします。なお当協会のホームページからクレジット決済も可能です。

お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。どうか、事務局までご連絡ください。